

ソフトウェアテストシンポジウム2008 東京(JaSST'08)プログラム 1/30(1日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
セッション0) 10:00~10:15 《15分》	セッションA0《15分》 オープニングセッション (JaSST東京実行委員会)					
セッション1) 10:15~12:00 《105分》	セッションA1《105分》基調講演: Software Quality In 2008 Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC) ※同時通訳					
休憩 12:00~13:00《60分》						
セッション2) 13:00~14:10 《70分》	セッションA2) エイヤッ!からの脱出	セッションC2) リスクのクスリ	セッションB2) バスの逆襲の逆襲	セッションD2) 冬深し、 隣は何をする人ぞ	セッションE2) チュートリアル1	セッションF2) 強敵と書いて 「ども」と読む ~ASTAセッション~
	A2-1《30分》 どこでテストをやめるのか? 川村 真弥 (NEC)	C2-1《30分》 Risk based Testingの実践 方法と適用事例からの考察 石田 智亮 (NEC通信システム)	B2-1《35分》 蟲眼鏡で蟲が見つかるか -テストプロセス改善の意義- 小川 秀人 (日立製作所)	D2-1《30分》 単体テストにおける 品質管理の盲点 田中 良治 (日本IBM)	E2《2時間50分》 チュートリアル1: Measuring Software Quality and User satisfaction. Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC) ※逐次通訳	F2《2時間50分》 アジア各国のテストリーダー からの発表 Asian Software Testing Alliance in 2008 Tokyo 司会: 高橋 寿一 (ASTER)
A2-2《40分》 出荷判定ライブ 寸劇から学ぶ出荷判定 -安心・安全な製品を出荷 するために- (ソフトウェア技術者 ネットワーク)	C2-2《20分》 FMEAによる テストケース選択 粕淵 清孝 (大日本スクリーン製造)	B2-2《35分》 バグレゴ その後 懸田 剛 (チェンジビジョン)	D2-2《20分》 広告メディアの品質向上と システム開発 佐々木 潤 (リクルートメディア コミュニケーションズ)	D2-3《20分》 出荷後発生する不具合に 対する取り組み 西町 和也 (ジャストシステム)		「(発表内容調整中)」 Xiaodong Ke (中国、天津ソフトウェアテス ティングセンター)
休憩 14:10~14:50《40分》						
セッション3) 14:50~15:50 《60分》	セッション3) テクノロジーセッション					
	C3《60分》 Web 2.0アプリケーションの 性能を検証する 岡崎 義明 (日本HP)	B3《60分》 3部構成で送る、 テスト専門会社バルテス 司会: 角田 誠 (バルテス) 第1部: お客様が語る バルテステストサービス 中村 直文 (ヤマハ) 第2部: 放送のデジタル化 にともなうデータ放送 コンテンツテストの必要性 第3部: テスト専門会社によ るテスト教育カリキュラム! 石原一宏 (バルテス)	D3《60分》 継続的インテグレーションと テストによるソフトウェア リリースの迅速化 Jeffrey Fredrick ※逐次通訳 (アジターソフトウェア ジャパン)	A3《60分》 ISO/IEC9126 & MISRA-C.2004ベース ソースコード品質診断 波木 理恵子 (オーズ総研) 中川 忠紀 (東陽テクニカ)	「テストシナリオアプローチ 変更影響を分析する」 Dr. Suhaimi bin Ibrahim (マレーシア、マレーシア工 科大学Centre for Advanced Software Engineering (CASE)) 「Testing Management Approach」 Yongtae Jung (ベトナム、Software Testing Alliance Vietnam(STAV)) ※同時通訳	
休憩 15:50~16:10《20分》						
セッション4) 16:10~17:40 《90分》	セッションD4) テスト設計かじり虫	セッションD4) テスト設計かじり虫 (中継)	セッションC4) はなまるJaSST ~ソフトウェアテストの 生活情報~	セッションA4) ワクワクさせたい人 寄っといで~	セッションB4) モデル検査 ブートキャンプ	
	D4-1《30分》 テスト分析の方法 HAYST法 とマインドマップを使って 永田 敦 (ソニー)	第1会場で行われているセッ ションを中継にてご覧いた だけます。	C4《90分》 ライトニングトーク (JaSST東京実行委員会)	A4-1《45分》 パックマンを事例とした ゲーム設計のあり方 岩谷 徹 (東京工芸大学)	B4-1《30分》 支援ソフトウェアを活用した 実践的モデル検査 篠崎 孝一 (関西電力)	
	D4-2《30分》 テストの「真」評価と 欠陥分析による ソフトウェア信頼性評価 堀 明広 (ソフトウェア技術者 ネットワーク)			A4-2《45分》 ゲームが目指す ユーザーフレンドリー 吉沢 秀雄 (バンダイナムコゲームス)	B4-2《30分》 ModelChecking技術の 専門性排除とその効能 野村 秀樹 (富士ゼロックス)	
D4-3《30分》 不具合に関する知識の 抽出に関する研究 河野 哲也 (電気通信大学大学院)	B4-3《30分》 単体テスト支援ツール 「パス解析システム」 -パスに基づく真の 品質管理へ向けて- 新原 俊一 (オーエスエー/リミテッド)					
情報交換会(登録者のみ)						

ソフトウェアテストシンポジウム2008 東京(JaSST '08)プログラム 1/31(2日目)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	
セッション5) 10:00~11:30 (90分)	セッションD5) 自動化マン! D5-1《20分》 スクリプトレスによる テスト自動化事例 小池 輝明 (NEC ネクサソリューションズ)	セッションB5) 早期品質警報システム B5-1《30分》 品質向上のための 仕様書&評価 -上流工程からの品質追求- 関 盛昭 (Sky)	セッションC5) 進化した テストングライブ 2008 C5《90分》 今年もやります。 テストングライブ 司会・実況・解説: 天野 勝 (永和システム マネジメント)	セッションA5) 笑って仕事しようよ、 上向いて仕事しようよ A5《90分》 実証された チームビルディング -最高の品質を支える チームとは- 1. チームビルディングの理 論と実践方法 2. やってみよう、アイスブ レーク 3. 事例 モバイルFelica開 発 全体像 4. 事例 チームビルディ ングの実際 5. まとめ 松尾谷 徹、岡田 豊子、他 (PS研究会) 栗田 太郎、増田 礼子 (フェリカネットワークス)	セッションE5) チュートリアル2 9:30~12:00 E5《2時間30分》 チュートリアル2: 現場の仕事が バリバリ進むテスト計画 湯本 剛 (豆蔵)	セッションF5) 3年B組テスト八先生 F5-1《70分》 いまどきのテスト教材 小菅 貴彦 (日本電子専門学校)	
	D5-2《20分》 フリーウェアで作る自動テス ト-UWSCの利用例- 古江 智和 (フォーラムエイト)	B5-2《30分》 定量メトリクス・データによる Defect Preventionの実践 細川 宣啓 (日本IBM)	参加チーム: チーム ぶろべっQ (シーイーシー) 藤崎ショッピング (ヴェス)				
	D5-3《20分》 オープンソースの テストケース管理ツール TestLinkの活用事例 川西 俊之 (情報工房)	B5-3《30分》 目覚めよ! 品質大國ニッポン 始めから正しいことをやる - SquBOK Guidelによる 「レビュー」- 古賀 恵子 (日立製作所 ソフトウェア事業部) 池田 敏 (日立情報通信 エンジニアリング)	問題作成・バグ判定: 守谷 嘉史 (豆蔵)				
	D5-4《20分》 デジタル家電に対するAll- Pairテストの改善と適用 川上 真澄 (日立製作所)						
	休憩11:30~11:50《20分》						
セッション6) 11:50~12:50 (60分)	D6《60分》 開発工程からの セキュリティ検査 -安心・安全なWebアプリ ケーションを実現する Watchfireソリューション 雨宮 吉秀 (日本IBM)	F6-1《15分》 モジュール単体テストと 検出すべき不具合について 嶋田 卓尚 (ガイオ・テクノロジー)	A6《60分》 J-SOX法から考える 性能テスト 山岡 英明 (エンビレックス)	B6《60分》 テストの短期化要請に応え る『JudgePrufer』(仮 題) 藤川 亮子 (富士通)	休憩12:00~12:15《15分》	セッションF6) テクノロジーセッション C6《60分》 テストエンジニアの地位 向上が、IT業界を変え、 日本を作る (現場主導で作る テスト業界) 生田 泰宏 (シーイーシー)	
		F6-2《15分》 ロボットを使ったテスト 自動化ソリューション 小宮 洋行 (ベリサーブ)			テクノロジーセッション 12:15~12:50		
		F6-3《15分》 テスト時バグ情報の共有と 管理を基にした定量的指標 に基づく組織的品質保証に ついて(組織的品質保証 ツール 「Q-One」のご紹介) 熊懐直哉 (構造計画研究所)			E6-1《15分》 組込みソフトウェア品質向上 ソリューションご紹介 菅野 修也 (エアアイコーポレーション)		
		E6-2《15分》 【開発のプロとして】 静的解析ツールの徹底活用 ~PGRRelief 2007 autumn~ 辻本 寛 (富士通ソフトウェア テクノロジーズ)					
休憩 12:50~13:50《60分》							
セッション7) 13:50~15:20 (90分)	セッションA7《90分》 招待講演: ソフトウェア製品の品質保証を巡る 人間特性の諸問題 菅野 文友 (系統技術研究所)						
休憩15:20~15:40《20分》							
セッション8) 15:40~17:10 (90分)	セッションA8《90分》 品質談義:菅野・ジョーンズのバグらない話 モデレータ:菅田 直美(NEC) Capers Jones (Capers Jones & Associates LLC) 菅野 文友 (系統技術研究所) ※逐次通訳						
セッション9) 17:10~17:30 (20分)	セッションA9《20分》 クローキングセッション (JaSST東京実行委員会)						

※各セッション会場は当日変更になる場合があります。ただし時間帯は変わりません。